

共済会軟式野球大会に出場 5連覇!達成

平成30年9月13日、共済会主催第40回施設職員軟式野球大会が開催され、当法人からも参加しました。

週の初めから降り続く雨で、天候が心配されましたが、当日は好天に恵まれ、野球大会日和となりました。今大会13日の部は大阪府下の福祉施設から14チームが参加し、白熱した戦いが展開されました。

他施設の職員の方々と親交を深めながら楽しくプレーし、また今回優勝すれば5連覇ということで、より一層チーム一丸となって真剣に戦いました。

決勝戦は、四天王寺福祉事業団を相手に苦戦しましたが、なんとか勝利し、大会5連覇を達成することが出来ました。

来年度、第41回大会でもベストを尽くし、大会6連覇できるよう一層励んでいきたいと思っております。



秋のイベント

ト特集

特集「秋のイベント」
1 千里祭 救護施設千里寮
2 敬老祝賀会 特別養護老人ホーム愛港園
トピックス
・共済会野球大会/公益的取組/義援金他

公益的な取り組み

毎号シリーズで公益的な取り組みをご紹介します。第6号は弘済院第1特養の緊急時安否確認(かぎ預かり)事業への取り組みです。

緊急時安否確認(かぎ預かり)事業(以下「かぎ預かり事業」という)は、平成30年から始まった吹田市社会福祉協議会・地区福祉委員会・協力施設が協働して実施する事業です。

日頃の見守り声かけ活動などを通じて孤立死などの不幸な事故を未然に防ぐことを目的として、事前に自宅のか

ぎを預かり、様子がおかしいと思われる時にかぎを使って室内に入り安否を確認するという仕組みです。

65歳以上の1人暮らし高齢者を対象としています。この事業への申込みは強制ではなく、ご自身で判断して利用するかを決めていただいています。

平成30年8月末現在、吹田市内で27件の依頼がありました。弘済院第1特別養護老人ホームは平成30年9月から事業を開始したところですが、施設が建つ古江台地区ではすでに多くの方から依頼があります。

社会福祉法人の使命として、地域の方々が安全に安心して暮らせる街づくりを目指し、引き続き地域貢献活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

「京都市救護施設等の整備及び運営事業者」に

京都市の公募に応募し、当法人が整備・運営事業の候補者として選定されました。今後、平成32年4月の開所に向けて、施設の整備等の準備を進めて参ります。

【整備内容】

- ・定員 救護施設 60名 緊急一時宿泊施設 40名
- ・整備予定地 京都市伏見区羽束師菱川町
- ・開所日 平成32年4月1日(予定)

「大阪府北部地震及び7月豪雨」義援金 603,500円

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震、広域にわたり被害が発生した7月豪雨により多くの方が犠牲になり、多くの方が避難生活を余儀なくされています。

当法人では、被災された方々への支援の第一歩として、全職員対象に義援金の募集を行い、総額603,500円を全国社会福祉協議会に送金させていただきました。

一日も早い復興をお祈り致します。

【理念】

1. 利用者一人ひとりの人格・人権を尊重し、自立支援を旨として社会福祉の増進に努めます。
2. 利用者本位の立場に立ち、常に笑顔でサービス提供し、顧客満足を追求します。
3. 「福祉の情報発信源」「地域交流の場」として地域福祉の拠点となり、社会貢献に尽くします。

【基本方針】

1. 積極的な情報公開を行い、透明性のある運営を行います。
2. 法令遵守に徹し、個人情報保護に努めます。
3. 職員は常に目標・ビジョンを持ち、継続的に業務改善に真摯に取り組む、自己改革・自己実現を目指します。
4. 社会福祉法人としての専門性を生かし、常に「well being」を実践しつづけます。

お祭りといえば、たこ焼き。
おひとつどうぞ。



第17回千里祭 千里寮にて

ご長寿のお祝いです
いつまでもお元気で。



敬老祝賀会 愛港園にて

敬老祝賀会



築港デイサービスセンター
築港デイの敬老祝賀会には今回、利用者27名が参加してくださいました。これからも皆さまが元気で長生きされ、いつまでも築港デイで末永くお過ごし頂けるようにと願い、利用者、ご家族様そしてスタッフが一堂に「乾杯!」をしました。(大森 義仁)



みなとデイサービスセンター
みなとデイの敬老祝賀会に参加してくださいましたNさんです。調理スタッフが腕によりを掛けてお作りした祝い膳を美味しく召し上がりました。写真をお願いすると、背筋を伸ばし、笑顔を見せてくださいました。お箸の持ち方が美しいです。(奥田 博)



弘済院第1特別養護老人ホーム
職員からのお祝いスピーチを一部ご紹介します。「人生の大先輩である皆様からかけてもらえる温かい言葉はいつも胸に響き、勇気づけられています。」「こうして平成最後の敬老の日という特別な日を迎えられ、お変わりなくお元気な様子で大変嬉しく思います。」
皆様のますますのご健康とご長寿を願っております。(川見 亮)



特別養護老人ホーム愛港園
地域の皆さまとの交流を大切にしたいと考え、当施設敬老祝賀会では地域女性会にお願いして毎年舞踊を披露していただいています。利用者の中には顔見知りの方に声援を送られる姿もあり、会場一体となって盛り上がります。いつもこの挨拶でお別れします「また来年」。(坪内 孝暢)

りんくうみなと祭



救護施設りんくうみなと
9月26日にりんくうみなと祭を開催しました。
りんくうみなと祭は今年も昨年に引き続き、利用者準備や当日の運営に関わってもらいました。年に1回行っていますが、来年はより良い「お祭り」が開催出来るように利用者にも協力して貰いながら計画をしていきたいと思ひます。
協力してもらった利用者の皆さん『ありがとうございました!!』
(尾花 昌昭)

千里祭



救護施設千里祭
10月6日に第17回千里祭を開催しました。
今回の催し物には落語家の林家市楼さんと口笛奏者の萱野正夫さんをお招きして舞台を盛り上げて頂きました。夕方から模擬店が出店し、施設から地域移行した方や生活困窮のため就労支援に参加している方もお店の手伝いをしてくださいました。たくさんの方に来て頂き、千里祭を大盛況のうちに終えることができました。(福永 扇句)

こうせいみなと納涼会



救護施設こうせいみなと
8月27日に納涼会を開催しました。今年は酷暑が心配でしたが、夕方には過ごしやすくなり、利用者の他、通所利用者、就労訓練生、地域の方、海の子学園の子供達、多くの方々にお越しいただきました。
中でも子供達には、福引きが好評で、当たりを引いて大喜びされる姿が印象的でした。
(内堀 世紀)

みなとフェスティバル



救護施設みなと寮
9月8日に第34回みなとフェスティバルを開催しました。第一部はブルーウインズの皆様に演奏していただきました。利用者は曲に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりして楽しまれていました。演奏後には女性最高齢の利用者の方にお礼の花束を渡していただきました。第二部の模擬店では鶏もも肉の炭火焼きが好評でした。おいしかった、楽しかったとの声を多数いただきました。(高木 智恵)

第42回 全国救護施設 研究大会

第42回全国救護施設研究大会が10月11日～12日大分県にて開催されました。第一分科会では救護施設における「生活困窮者就労準備事業」と「認定就労訓練事業」、この二つの事業の取り組みを報告させていただきました。大変緊張し、上手に報告できたか心配でしたが、その後のグループ討議では、食堂・コミュニケーションホール・千里ファーム(施設敷地内の畑)などや、美術・即興音楽のワークショップなどの表現に関するプログラムといった救護施設の機能のフル活用に興味を持っていただき、同時に、貴重な助言をいただいたことは、大変勉強になりました。最後に、見学希望の声をいただき、この事業に携わっているものとして、大変自信となりました。今後利用者さん一人ひとりが生き生きと生活できるようなサポートをしていきたいと思ひます。
(救護施設千里寮 大志武寿)

台風

法人に勤めて25年以上になりますが、これだけ強く凶暴な台風(21号)は今回が初めてです。施設の窓ガラスが破れたり、玄関前の庇のトタンが剥がれて飛んでいくのを目の当たりにするなど、その凶暴さを見せつけられました。
台風が去っても停電が約38時間続き、水道を各階に供給するシステムが作動せず、その間館内は断水が続きました。真っ暗でナースコールも鳴らず、懐中電灯を頼りに頻りに居室を巡回し利用者の安否確認をしてくれた生活支援員、非常用の物品を活用しながら安全に食事を提供してくれた厨房スタッフ、必要物品がなく物資を調達しに行ってくれた事務スタッフ・法人応援スタッフなど、多くの方々の献身的な尽力によりご利用者様が無事に過ごすことができました。何事もない日常を提供するのが私たちの仕事なのだなど改めて肝に銘じています。

特別養護老人ホーム 愛港園
施設長 梅川健司